

花まつり



令和六年四月七日、一日早い開催となりましたが、大心寺の大塚先生とご子息のとおり君をお招きし、花まつりを開催しました。

大塚先生ととおり君の勤行にはじまり、途中とおり君が一人でお経を読まれる場面もみられ、周りのご利用者より「上手だね」「かわいいね」とご自分のご家族を見られるような暖かい眼差しをされているのが大変印象的でした。

最後に甘茶かけを行い皆様ご満悦な様子でした。

今回は三年ぶりに合同開催ということで、いつもは会えなかったご利用者同士が再会し、笑顔で行事を楽しむことができました。今後もこのような機会をご利用者の方々に提供できるよう努めていきたいと思えます。

門松の前で

デイサービス

今年もとっても立派な門松ができ、デイサービス初日から皆様が驚く顔がとても印象的でした。

門松を背景に、写真を撮りたいという希望にお応えして何名か写真撮影をしました。

「記念に一枚」という事で、ご夫婦でパシャリ。お二人ともとても素敵な表情で、みている私達もほのぼのする事でした。



初詣

デイサービス

今年も、恒例の『豊玉姫神社』に初詣に行ってきました。

今回は晴天に恵まれ、皆さん気持ちよくお参り出来たことと思います。

今まで、お神酒を楽しみに参加されていた方が、今年もなく残念だと寂しさを漏らしていました。中には、お守りを購入される方もおり僅かでも、新年の始まりを感じる事ができたのではないのでしょうか。

今年一年も、皆さまが元気で過ごせるように、職員一同で協力させていただきます。



節分行事

多機能ホーム

毎年恒例の豆まきを行いました。数日前から鬼のお面と、新聞紙を丸めた『豆』をご利用者の皆様に作っていただきました。

赤鬼と青鬼が登場すると、ビックリして腰が抜けてしまった方もいらっしゃいました。鬼は外！福は内！の掛け声とともに豆をまき、無事に鬼を退治しました。皆様にたくさんのお福が来ますように。



グループホーム

二月三日(土)に節分豆まきを開催いたしました。食事は巻き寿司を作り、ご利用者が紙を丸めて作った豆を使用し豆まきを行いました。「鬼はー！そとー！福はー！ちー！」の掛け声とともに力いっぱい投げ、無病息災を祈願いたしました。



ひな祭り

特別養護老人ホーム

令和六年三月十三日ひな祭り行事を行いました。お内裏様とお雛様に扮した職員が登場すると、ご利用者の方々より、「似合ってるね!」「かわいいね!」と声がありました。

その後ひな祭りや春よ来いの歌をみんなで歌い、最後に顔だしパネルでご利用者の方々の写真撮影を行いました。恥ずかしそうな方もいらっしやいましたが、周りから「いいよ!」と声がかかると満面の笑顔でフレームにおさまっていました。



県下一周駅伝を応援

グループホーム

二月十七日(土)に県下一周駅伝の応援にでかけました。

応援のプラカードを作成しご利用者様に持って頂き、川辺チームはもちろんの事他のチームの選手にも拍手をしながら「がんばれ!がんばれ!」と声援を送りました。帰りは知覧町内をゆっくりドライブしながら帰園しました



茶話会

多機能ホーム

毎年恒例、年度末の茶話会を行いました。初めにクイズを行い正解者には景品のプレゼントもありましたが、ほとんどの答えを職員がご利用者の耳元で囁いての正解でした。時には職員にも分からない問題があり、正解に驚く事もありました。その後はケーキとコーヒーやお茶を飲み、最後に職員手作りのアルバムをご利用者一人一人にお渡しし、皆さんじっくりと見入っている様子でとても和やかな時間を過ごす事ができました。

これからも皆様と楽しい一年を過ごせるように一生懸命頑張りたいと思います。



花見ドライブ



デイサービス

四月初旬、知覧特攻平和会館の開花を待ち、花見ドライブに行きました。見事に咲いている桜を見て感激の声があちこちで聞かれました。近所の保育園児が、並んでお散歩している姿をみて「可愛い」「綺麗に並んで感心ね」など、優しい目で見守りながら手を振り声をかけていました。桜を背景にとっても素敵な笑顔で記念撮影ができました。



移動図書館

毎月一度、知覧図書館から移動図書館が来てくれます。昆虫や草花など色々なテーマの本や紙芝居が沢山あり、時にはご利用者様と一緒に選んで借りる事もあります。そして多機能ホームでは、レクレーションの一つとして紙芝居を



行い、一週間毎日日替わりで色々なお話を読みます。中には子守唄の様に聞こえるのか少しずつ瞼が閉じていき居眠りをされるご利用者様もいましたが、話が面白く声を出して笑い込まれる方もおり、子供の頃に戻ったかのような時間を過ごす事が出来た様子でした。

職員と一緒に好みの本を選ぶことが出来ます。目も見えづらい事もあり、本とは疎遠になっていく方も多くいらっしゃいます。事業所ごとに本を借り、1人で読書を楽しむ方や、職員による読み聞かせ等を行い、本と触れ合う時間を設けています。「私は昔、郵便局に勤めていて、近くに図書館もあったので休憩時間にはよく本を読んでいた。途中で空襲警報が鳴り、逃げる事もよくあったのよ」と本とのエピソードを教えてくださいました。



移動販売

「お店が施設に来てくれたら助かるけどね。頼めば買ってきてはくれるけど、やっぱり自分で見て選んで買物を楽しみたいわ」と利用者の方のお話を聞き、月に1回ではありますが、南さつま農協より移動販売車が来る事となりました。

移動販売がゆえ、お店も次の予定がある為に20分ほどの滞在となりますが、皆さま職員の付き添いの元、お買い物を楽しまれました。「タクシーを使用して行っていたけど、お店が玄関先まで来てくれるのは助かる」「自宅周辺にはお店がなく、自宅にいた頃は移動販売で買物をしていたので懐かしい感じがした。買物をする機会がないのでよかった」「見るだけでも楽しい」との声が聞かれました。ご利用者の楽しみの一つとして、今後も継続が出来ればと思っています。



特別養護老人ホーム・ショートステイ紹介



特別養護老人ホームは定員50名で要介護3以上の方が入居対象です。(要介護1、要介護2の方は特例入居の対象となります)以前に比べると入居者全体の要介護度も上がってきています。短期入所生活介護(ショートステイ)を併設しており定員は15名です。日中は、皆様それぞれ自室や食堂、談話室にてゆっくりと過ごされています。テレビをご覧になったり、おしゃべりしたり、塗り絵や計算問題をされる方もいらっしゃいます。コロナ禍では、面会や外出の制限等でご利用者及びご家族の皆様大変ご迷惑をおかけしましたが、4月以降は制限が緩和されました。引き続き感染症予防に努めながらご利用者とご家族の皆様喜んで過ごしていただけるよう職員一同励んで参りたいと思います。



グループホーム紹介



グループホーム音野舎は定員9名の2ユニットで構成されています。全室個室です。

認知症の診断を受け、南九州市在住の65歳以上の方が対象です。住み慣れた地域を離れず共同生活を通じて『今出来る事』を維持し、安心して過ごして頂けるよう、職員の声掛けや見守りを行いながら生活を送る為の施設です。

- 年間行事 -

- 1月:初詣
- 2月:節分行事・県下一周駅伝応援
- 3月:ひな祭り
- 4月:お花見・花まつり
- 5月:母の日行事・芋植え
- 6月:ドライブ(紫陽花)・梅干作り
- 7月:水車からくり人形見学
- 8月:花火大会
- 9月:敬老会
- 10月:ドライブ(コスモス)ユニット対抗運動会
- 11月:知覧文化祭見学・ミカン狩り・芋ほり・焼き芋大会
- 12月:クリスマス会・忘年会・餅つき大会



職員研修

『施設職員としての職業倫理』 講師：春田

倫理とは、ルールや基準・道徳・モラル・善悪の判断において普遍的な基準になるものとされ、職業倫理とは、専門的な職業や職人に求められる判断・行動に対する規範、社会的役割・責任、人と人との信頼関係を継続させる為にも不可欠なものとして扱われています。福祉施設の職員として、責任を自覚し、介護のプロフェッショナルとしてご利用者の為に頑張っていきましょう。



『食中毒について』 講師：畦元

食中毒とは細菌やウイルスによる感染性のもので、キノコやフグなどの自然毒によるものや、加熱不十分な食品を食べる事で食中毒を引き起こしやすくなります。細菌性食中毒は高温多湿の夏季に多発し、ウイルス性食中毒は冬期に発生します。予防方法としては、手洗い・消毒・手袋の着用、食材を適度な温度で管理し、調理時は充分加熱し、食中毒予防を行いましょ。



『嘔吐物の処理の仕方』 講師：落

嘔吐してしまった場合、ウイルスの感染を広げないようにする為には、汚物はすぐに拭き取り乾燥させない・きれいに引き取ってから消毒する・しっかり手洗いをし・手の触れる場所の消毒などが大事になります。また、消毒後は調理や配膳、食事介助などに従事しない・48時間は感染の有無に注意する・嘔吐物処理時とその後は換気を行い、換気設備がある場合は運転するなど注意点も重要となります。処理時は落ち着いてウイルスを広げないように処理していきましょう。



それぞれの研修を通じて、一人一人が福祉施設職員としての責任を自覚し、必要な知識を習得しながら、介護の現場で発揮し、ご利用者の為に支援していけるように頑張ります。

「ホッと。ひといき」

皆さま、ごきげんよう。

このコーナーは、ちょっと気になる事、誰かに伝えたいいい話、面白かった、楽しかった、寂しかった誰かに聞かせたいエピソードを伝えます。

今回は長年、デイサービスをご利用していただきました、田中ミツ様(令和4年没:享年98歳)のお話です。

「ぞうきんを作る時は、輪にして作るのよ。そうすると縫い目でゴワゴワしないし、折りたたんでめくっていくと、拭きやすいの。そしてね、洗う時も簡単、干したらすぐ乾くの。便利でしょ」
タオルの両端はほどいてから、手縫いを行い、針の糸通しも最後まで裸眼で行っていました。そんな知恵がいっぱい詰まったお母様だったと娘様は自慢しておりました。
皆さまもぜひやってみてはいかがでしょうか。



発行

社会福祉法人 滴々会
高齢者総合福祉施設 音野舎(のんのしゃ)
〒897-0302
鹿児島県南九州市知覧町郡2072番地2
TEL 0993(58)7171 FAX 0993(83)4771
URL <http://www.nonnosya.com/>
E-mail info@nonnosya.com

編集後記

新茶の豊かな香りと風味を楽しめる季節となりました。

今年度も花まつりや花見ドライブでのスタートとなりました。ご利用者様の元気なお姿や笑顔をお届けできる紙面作りを広報委員会一同、心掛けてまいります。